

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

秦 康夫

2016年9月1日（木）9:30～16:30

作業項目：除伐を主とする林間整備

干害防備保安林の南、44林班「は」地区は、ヒノキの植林帯にヒサカキやツバキ、ソヨゴなどの常緑樹が繁茂する薄暗い林間だった。6月から3回の作業で東海自然歩道沿いの尾根筋近辺はかなり明るくなったが、谷筋近くには白いテープを目印に付けてある要伐採の常緑樹や枯損木がまだかなり残っている。今日は、未処理の要伐採木をできるだけ片付けることにし、4名と3名の2班に分かれて作業した。

谷に近付くに連れ斜面が急傾斜になって足場が悪くなり、またツバキなど硬い木は、幹回りがあまり太くない割には伐木に時間が掛かり、谷近くを担当した3名の男性班は、午前・午後で10本程度しか処理出来なかったが、女性3名を含む4名組は、比較的細い木が多かったせいもあるが、女性陣の活躍のお陰で作業が捗り、15～6本程度の要伐採木を処理できたようだ。樹間に繁茂し日光を遮っていた常緑樹が減ったお陰で、作業後の林間を見渡してみると、作業前に比べ明らかに明るくなっていた。

除伐作業後、物置設置場所へ戻り、全員で新旧の物置に収納する用具類の仕分けと、物置の周囲に水捌けのための溝掘り作業等をしたため、作業終了時間が遅くなった。

【作業参加者】

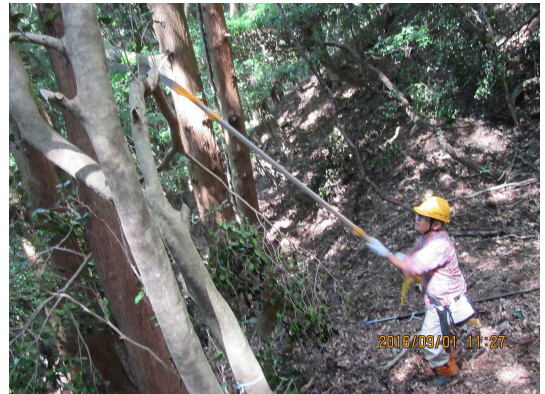
斧田一陽 小櫃徹夫 武田壽夫 秦康夫 河野直子
石原順子 後藤和子 計7名



① 集合写真



② 伐木予定木～株立ち4本のうち、2本は処理済



③ 掛かり木になりそうな枝を、高枝鋸で事前に処理



④ 伐木作業中 1



⑤ 伐木作業中 2



⑥ 株立ちのツバキ伐木後)



⑦ 伐木後の処理



⑧ 林床整備 作業風景 1



⑨ 林床整備 作業風景 2



⑩ 林床整備 作業風景 3



⑪ 物置周囲の溝掘り